

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中  
送信先: report@r-ict-advisor.jp

報告日  
派遣決定番号  
報告回次 2日目

### 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	鎌倉市		代表者名	松尾 崇
担当者部署	共生共創部政策創造課スマートシティ担当		連絡先電話番号	0467-23-3000
担当者役職	担当主査	担当者氏名	若松 繁	連絡先E-mail
住所	248-8686 神奈川県鎌倉市鎌倉市御成町18番10号			

##### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	アンケート結果から、参加した職員が市民目線でオープンデータの必要性を考えるきっかけとなり、またデータの管理、活用に興味を持ってくれたと考える。また、全体進行やサポートについても、9割以上が「大変満足・やや満足」を選択する結果となった。そのほか、当日の動画についても後日アーカイブで庁内展開することで、当日参加出来なかった職員も広く受講してもらえた。
アドバイザーへの要望事項	連絡調整がもう少しクイックにできるとありがたかったです。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
			有	令和4年12月27日	584
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和5年1月23日	講演 (オンライン)	9時30分	12時15分	
			活動時間 (分)	165	
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

#### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	28 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	これまで市ではオープンデータの拡充に向けた研修やワークショップを開催したが、その後の機構改革や人事異動の結果、継続的な取り組みにつなげることができなかった。また、職員は日々の業務に忙殺され、データの利活用やオープンデータといった、新たな視点に目を向ける余力が残されていない。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<input type="checkbox"/> 行政においてデータを使った方が良い理由を理解する <input type="checkbox"/> データを使って外の人の力をうまく借りる方法を理解する <input type="checkbox"/> 活用しやすいデータはどのような形なのかを理解する <input type="checkbox"/> データ分析の実践を通してデータの扱いに慣れる	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<input type="checkbox"/> 行政においてデータを使う必要性 <input type="checkbox"/> 行政データの公開がもたらす社会的インパクト <input type="checkbox"/> 活用しやすいデータ作りのポイント <input type="checkbox"/> 表形式データの扱い方、ピボットテーブル・ピボットグラフの使い方、便利な小技 (エクセル)	
支援を受け改善又は解決された内容	<input type="checkbox"/> 行政においてデータを使った方が良い理由を理解する <input type="checkbox"/> データを使って外の人の力をうまく借りる方法を理解する	

(具体的にご記入下さい)	<p>○データを扱うためのノウハウを学ぶ、旧ノウハウを再確認する</p> <p>○活用しやすいデータはどのような形なのかを理解する</p> <p>○データ分析の実践を通してデータの扱いに慣れる</p>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	<p>研修資料(下山氏作成)</p> <p>アーカイブ動画: <a href="https://www.youtube.com/watch?v=bycY7Jxc7NQ">https://www.youtube.com/watch?v=bycY7Jxc7NQ</a></p>	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の研修を今後継続させ、市のデータ利活用やオープンデータの拡充に向けた組織風土をどのように作り上げるか。	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>業務効率化や利活用に向けたデータの作成・管理方法(ピボットテーブルの活用等)については、アンケートでも今後活用したい等の前向きな感想が多く、また、本研修自体の継続を希望する声もあった。</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりがデータの利活用やオープンデータの意義を理解し、業務の生産性向上を図るとともに、オープンデータの創出が庁内の組織風土として定着し、市民や企業に有益なオープンデータが拡充することで、官民共創の新たなスマートシティサービスを生み出す仕組みにつながる。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

報告日

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



- 匿名 4日前 10 回

オープンデータを稼働するというのは一見ハードルが高いように感じますが、見方を変えればこれまで行政が行ってきた情報公開の「形」を変える「だけ」なのかもしれないと感じました。あまり構えず、オープンデータが有用だということをしかりと認識することで行政の情報発信の仕方が少しずつ変わっていくのかなと思います。
- 匿名 4日前 8 回

オープンデータは官民共創という文脈もありますが、そもそもの行政の「透明性・公平性」というところにうまくアプローチできるものだと理解しました。「データに基づいた施策を講じている→用いたデータがオープンデータ化されている」となれば納得せざるを得ないでしょう。情報公開のコストは削減される理由がよくわかります。
- 匿名 4日前 7 回

鎌倉市で活躍するステークホルダーの皆様然り、様々な知見ノウハウを持つ企業さん然り、我々行政よりも発想が豊かですからね。データが開示されてさえいれば、行政側に狙いがなくとも、勝手に我々の思い付かない新たなデータを活用したサービスなどの展開がされたりと

デジタル技術を活用した行政の推進の基本原則

<b>①デジタルファースト</b> デジタル技術を活用し、デジタル駆逐を推進したサービス提供を行う	<b>②コンプライアンス</b> 一度出した情報は、二度出すことを不要とする	<b>③コネクテッド・クラウド</b> 民間サービスを活用し、複数のシステム・サービスをクラウド上で実現する
--	---	---

プのバスの走行方法があるわけですね。サービスもそうあってほしいということ

下山紗代子の動画を表示しています オプションを表示

データの組み合わせは新たな価値を生む

- サンフランシスコ市では、飲食店に対して実施した保健衛生検査の結果をデータで公開している
- Yelpはそれをサービスに取り込み、「Health Score」として100点満点のスコアに変換し、各飲食店のレビューページに表示

こう保健衛生検査の結果をヘルススコアという形で衛生スコアという形で百点満点のスコア化を

様々な効果が期待できそうですね。

匿名 4日前 7 反応  
まずは手始めにセルの結合、スペース改行の撲滅運動を課内で展開しませんか？ (edited)

匿名 4日前 5 反応  
鎌倉市でも市民との合意形成は大きな課題です。そのためにリクリッドというデジタルプラットフォームを導入しました。

匿名 4日前 5 反応  
先週金曜日には、企業との目標合わせにリクリッドを活用して大成功。目標合わせ→目分事・納得感→合意形成の重要性を実感しました。

匿名 4日前 5 反応  
子育て分野は情報が錯綜してきますからね、情報が分かりづらく取りづらい、民間の力をオープンデータによって、引き出せるのであればどんどんデータを公開すべきですね。

匿名 4日前 4 反応  
行政側のアイデアだけでは人材も隠れてるのでオープンデータの活かし方に限界があります。データ化出来るものは基本オープンデータ化する事で、官民学協働が可能になりそう。

匿名 4日前 4 反応  
多くの課で、担当しか把握していないような、データが散在している。オープンデータが基本だと、担当が不在でも他の職員が利用出来るようになる？

匿名 4日前 4 反応  
名義後援・広報掲載はPRが目的でしょうから、イベント情報をオープンデータで発信できるのはWin-Winですね。そのまま自動でSNS発信できればもっと便利になりそう。